

燧ヶ岳山行報告

【山行日】 2015年 7月 12(日) 快晴
【集 合】 栃木市運動公園P AM 3:30
【費 用】 マイカー2台 : 3,800円
【メンバー】 CL:鈴木、岩淵、大西、香川、
梶内 島田、関、中田、増田、松館
【コースタイム】 栃木市運動公園 3:30=御池
P6:10/6:30=沼山峠 6:55~長英新道入口 8:15~
ミノブチ岳 10:40~俎嵩 11:00/11:10~柴安嵩
11:30/11:40~俎嵩 12:00/12:30~熊沢田代
13:30~広沢田代 14:15~御池 P15:15/15:30=
栃木市運動公園 P18:30

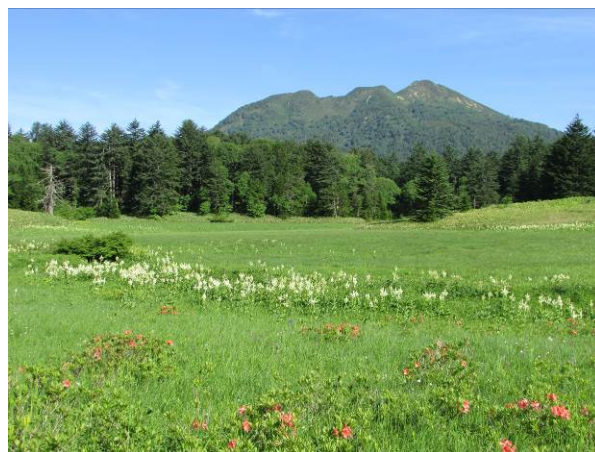


夏山トレーニング山行として、燧ヶ岳山行を計画した。



峠で小休止し、広い木道を15分程下ると傾斜が緩くなり、大江湿原の一角に出る。ここからは尾瀬ならではの花の楽園を歩くようになる。ニッコウキスゲはまだ開いたばかりだが、ワタスゲ、レンゲツツジ、ヒオウギアヤメ、カキツバタ、コバイケイソウ

御池駐車場に6:10に着き、予定通り6:30発のシャトルバスに乗り沼山峠に着く。トイレとストレッチを済ませ、尾瀬沼への道標に従って短い階段を登り、樹林帯へ入って行く。木道が広く立派に整備され、歩き易くなっていた。峠までは標高差約80m、オオシラビソやコメツガの樹林帯を登って行く。峠には、道の右側に木製の階段になった展望台があり、尾瀬沼や皿伏山などが見渡せる。



等々の花にIさんが大感動。特に、コバイケイソウは十数年に一度の大当たり年だそうで素晴らしかった。尾瀬沼が近くなると、沼尻への分岐となり右に折れて進む。大江川に架かる橋を渡った所で小休止し、花と尾瀬沼を堪能する。湿原から笹の茂った坂道を上がり、再びオオシラビソ



の樹林帯を歩くようになる。

10分ほどで「燧ヶ岳登山口」の道標が立つ、長英新道分岐に着く。分岐を右に進み、燧ヶ岳に向かって登って行く。最初は緩い斜面を登って行くが、オオシラビソやコメツガの茂る、薄暗い樹林帯の中を淡々と登る。四合目で休憩をとり、冷たいメロンをいただき水分を補給する。快晴だが、樹林帯の登山道は湿度が低く爽やかで、暑さはさほど感じない。やがてははっきりした尾根道になると、傾斜がきつくなり汗がしたたり落ちるようになる。高度

が上がるにつれ、オオシラビソはまばらになり、代ってダケカンバが目立つようになりゴゼンタチバナやスタヤクシュの花も見られるようになる。

急な溝状の登山道を登りきると、傾斜が緩やかな道になり小さな湿原状の場所に出て小休止する。

ここからは、笹の密生した急な坂道を登るようになる。森林限界を超え、前方にぱっと青空が大きく広がり、ミノブチ岳の広い山頂の一角に飛び出す。山頂からは、これから登る俎岨や柴安岨が見え、反対側には眼下に尾瀬沼が見える。ここから灌木の間を平らに進み、ナデツ窪道の分岐を右に進み、御池岳を巻くように登り鞍部を過ぎると山頂への急登となる。岩場の急登を、下山者に励まされながら登り上げると、俎岨・『燧ヶ岳』山頂に着く。皆で、無事登頂を喜び合い固い握手を交わす。



皆で、無事登頂を喜び合い固い握手を交わす。



山頂からは360度の大きなパノラマが広がり、尾瀬ヶ原を挟んで至仏山から越後三山、会津駒ヶ岳等残雪を纏い凜々しく聳えて素晴らしい。11時まで登頂出来たので、もう一つの山頂柴安岨に向かうことにする。ザックをデポし、西側に下って柴安岨に登り返す。こちらの山頂は平らで広く、「燧ヶ岳山頂」の立派な石柱が立っている。尾瀬ヶ原や会津の山々の眺望を楽しみ、記念写真を撮って俎岨に戻り昼食タイムとする。今日の山ごはんは、味噌ラーメンにチャーシューをトッピング。おにぎりとの相性は

は抜群でとても美味しくいただいた。山頂からは、北側の御池に向かって降りて行く。

歩きにくい岩礫帯を下ると、急な雪渓の下りがあり慣れない人は苦労して降りていた。樹林帯を抜けると、美しい傾斜湿原が広がる熊沢田代に出て、木道を歩くようになる。ワタスゲやチングルマ、ヒメシャクナゲなどの花を楽しみながら歩き、雲上の樂園を満喫する。しばらく樹林帯を下ると、2つ

目の傾斜湿原の広沢田代に着き、池塘の脇にあるベンチで最後の休憩をとる。ここからは岩場の急降下が続き、歩きにくく時間が掛かってしまった。

ようやく御池の駐車場に着き、大きな山に登頂出来た喜びでお互いに固い握手を交わす。

途中、道の駅「たじま」でお土産を買い、予定の時間に栃木市運動公園に戻る事が出来た。

